



三春中学校だより

第 28 号

発行日 令和 元年 9 月 3 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【第 68 回田村地区中学校英語弁論大会！ ～英語が好きで、伝えることに努めて。～】

8月28日（水）に、三春交流館まほらにおいて、第68回の田村地区中学校英語弁論大会が開催されました。本校よりも、創作の部1名、暗唱の部2名の生徒が参加し、それまで英語の先生やALTのジミー先生と積み重ねた練習の成果を披露してきました。

本校での激励会の際の英語弁論の姿よりもさらに磨きがかかって、伝えよう、わかってもらおう、英語って楽しいという気持ちがとても伝わってくる弁論でした。

3名の発表者のみなさんには、これまでの学習・生活の中で培った英語への興味・感心をこれからも大事に育てていっていただきたいと感じました。

創作・暗唱の発表が終了した後は、小野中学校の生徒3名、そして、田村市のALTのみなさんによるエキシビションが行われ、会場の雰囲気や和みました。

弁論を披露した3名の生徒のみなさん、お疲れ様でした。これまでの練習の繰り返し、そして、その積み重ねは、必ずこれからの学習・生活に生きてくることと思います。よくがんばりました。



【見て、学ぶ！ ～自ら気づき、学び、より豊かな自分になろう。～】

三春中の会議室のカーテンの写真です。清掃の時間、子どもたちと一緒に掃除をし、終了の時間が近づいてきたときにふっと見ると、出入口のカーテンが広がったままになっていました。

写真右側のカーテンを閉めて束ねていると、校長室・会議室掃除の生徒さんの一人が左側のカーテンを束ねはじめました。

何気ない、当たり前前の行為のように見えますが、“自ら気づき、よりよく学ぶ”ということはどういうことなのかなあと感じました。

夏休み明け集会での生徒発表にもあったように、三春中の“学び”は、指導されたことをきちんと吸収すると共に、『自ら動いて、自ら学ぶ』という主体性もとても重要な“学び”であると指導しています。

写真左側のカーテンを束ねてくれた生徒さんは、右側のカーテンが使えばなしになっていて、それを誰かが束ねているのを見て、もう一つの左側のカーテンに目が行き、きちんと束ね直すという行動に結びつける力をもっていたのでしょうか。この生徒さんはそうすることが大切だと考え、ご家庭でもご家族から教えていただきながら、学校でもそういう行動を大切にしてきたのでしょうか。しかも、左側のカーテンの方が右側のカーテンよりきちんと束ねられています。ただ束ねるだけではなく、よりよく束ねるという気持ちも備わっている生徒さんなのですね。

他を見て、自らよりよく学ぶ生徒さんの存在を頼もしく感じた、何気ない出来事でした。



【厳しい練習に耐えて！ ～かけがえのない宝物を胸に抱いて。～】

8月30日（金）、田村地区内の9中学校から、鍛え抜かれたランナーが田村市陸上競技場に集合しました。第61回田村支部中学校駅伝競走大会・第32回田村支部中学校女子駅伝大会の日でした。

女子は10：00のスタートでした。三春町の鈴木町長様のピストルの合図でスタート。時折、雨が激しく降る中を、それぞれのチームの選手たちは力強い走りを見せてくれました。男子のスタートは11：20で、スターターは、永年、田村支部の陸上競技の専門委員長として尽力くださった船引中の先生が務めました。三春中だけではありませんでしたが、3年生はもちろんのこと、1・2年生も選手として堂々の走りを見せてくれました。

三春中は例年は男女2チームずつの出場でしたが、本年度は各1チームずつの精鋭と指導の先生方での大会参加となりました。

夏の酷暑の中の練習はとて辛いのものがありました。その取組を通して、がんばる力、粘り強く物事に取り組む力、チームの一員としての在り方、襷をつなごうとする責任感、やり遂げた後の充実感・満足感など、駅伝部のメンバー一人ひとりの心の中には、がんばったからこそ得られた、本当に『かけがえのないもの』が育ったことと確信いたします。よくがんばりました。

願わくば、来年度は、さらにたくさんの三春中の生徒の心の中にそんな『かけがえのないもの』が育まれるよう、たくさんの『挑戦』を待っています。



【心のこもった音楽あふれる学校を！ ～鑑賞しました。第73回福島県合唱コンクール～】

8月31日（土）、福島市にある福島県文化センターにおいて、第73回福島県合唱コンクールが開催され、本校合唱部も演奏のステージ上に立ちました。15：08から始まる同じ三春町の岩江中の演奏から鑑賞させていただきました。本校の登場は16：08から。ドキドキしながら待っていると、指揮の阿久津先生と共に三春中の生徒のみなさんが登場。心のこもったすばらしい演奏を聴かせてくれました。

帰り際、県文化センターの正面で写真撮影に臨む合唱部生徒のみなさん一人ひとりの表情には、充実感・満足感があふれているように感じました。仲間と一緒に歌った合唱。演奏曲の後半にあった『大切なものは全部ここにある』というフレーズと曲が今で

も耳に残っています。合唱部の生徒のみなさんが感じていたもの、それこそ、『大切なものは全部ここにある』という実感だったのではないのでしょうか。

コンクールなので順位は当然つくようになりますが、三春中の生徒のみなさんが自ら合唱部への参加を希望し、夏休み前から一生懸命心一つに合唱に取り組む姿こそかけがえのないものであると感じました。心を励まし、慰め、勇気づけ、感動の心をもたらしてくれる合唱。そして、音楽。ぜひ、来年度も、よりたくさんの三春中生徒のみなさんが、心一つに合唱に取り組んでくれることを心より期待します。

